

第5回東海地区高校生介護技術コンテスト 福祉科3年 **優秀賞受賞**

8月22日(水)に第5回東海地区高校生介護技術コンテストが岐阜各務野高校で開催されました。愛知県、岐阜県、三重県、静岡県から各代表校が出演し、本校福祉科3年生が優秀賞を受賞することができました。

コンテストの課題は「糖尿病網膜症により、視力低下及び歩行に不安がある高齢者の歩行介助と食事内容の説明」でした。在宅生活復帰のための生活意欲を引き出す声かけや支援の方法を工夫し取り組みました。これまで学んだ知識・技術を最大限に発揮することができました。

「心を込めて私たちが介助します。」



利用者が在宅生活に復帰できるように自立支援を尊重し“自信を取り戻す”ための声かけや介助の工夫を心がけました。

体調確認、説明・同意



歩行訓練の様子



「ご自宅の玄関を思い出して下さい。僕と一緒にゆっくり昇りましょう。」



「今日の歩行はふらつきもなく安定していましたよ。明日はお1人で歩けそうですね。」

優秀賞受賞

第5回 東海地区介護技術コンテスト



糖尿病や視覚障害に関する知識を確認し、歩行や食事に関する介助方法を様々な場面を想定して何回も練習を重ねました。また、相手の立場に立って安全で安心できる介助方法について考え、根拠(エビデンス)を明確にし、介助を展開するよう心がけました。

心を込めた介助を時間内に行うことを意識し、利用者の思いを大切に、自信を取り戻していただくための介助を行いました。

今回のコンテストで学んだことを今後も日々の学習活動や介護実習へ活かしていきたいです。